

日野市クリーンセンタープラスチック類
資源化施設建設工事

審査講評

平成 29 年 5 月

日野市クリーンセンタープラスチック類
資源化施設整備等事業者選定委員会

目次

1	はじめに	1
2	事業の概要	2
	(1) 事業名	2
	(2) 事業目的	2
	(3) 本施設の概要	2
	(4) 事業方式	2
	(5) 事業期間	2
	(6) 業務内容	2
3	民間事業者の選定方法	3
4	審査方法・手順	3
	(1) 参加資格審査	3
	(2) 提案書類審査	3
	(3) 開札	5
	(4) 最優秀提案の選定	5
	(5) 落札者の決定	5
5	事業者選定までの経過及び選定委員会の開催経過	6
6	審査結果	7
	(1) 参加資格審査	7
	(2) 基礎審査	7
	(3) 加点審査	7
	ア 非価格要素点の得点化	7
	イ 価格点の得点化	8
	(4) 最優秀提案の選定	8
	(5) 入札参加者の確認	8
	(6) 審査結果	8
7	審査講評	9
	(1) 加点審査項目（非価格要素）の講評	9
	(2) 総 評	10

1 はじめに

日野市は、日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設建設工事（以下「本工事」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）を総合評価一般競争入札により公正かつ公平に選定するため、日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設整備等事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置した。

選定委員会では、事業者の選定に関する審議・審査を進めてきた。

この度、選定委員会における審議・審査を終えて、最優秀提案者を選定したので、ここに審査講評として取りまとめ、報告する。

日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設整備等事業者選定委員会

委員長	小笠 俊樹	日野市	環境共生部長
副委員長	大島 康二	日野市	企画部長
委員	篠崎 忠士	日野市	総務部長
委員	福田 博保	日野市	クリーンセンター長
委員	小澤 幸一	日野市	ごみゼロ推進課長
委員	高橋 進	日野市	施設課長

※平成 29 年 3 月 31 日までは、小笠 俊樹がクリーンセンター長を兼務

(学識経験者 (オブザーバー))

荒井 喜久雄：(公社) 全国都市清掃会議 技術指導部長

宮脇 健太郎：明星大学 理工学部総合理工学科 教授

※学識経験者は、委員長より求められた場合に限り、オブザーバーとして意見を述べる。

2 事業の概要

(1) 事業名

日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設建設工事

(2) 事業目的

日野市の既存焼却施設の建替え事業として、浅川清流環境組合（日野市・国分寺市・小金井市で構成）が計画している「新可燃ごみ処理施設整備事業」において、新可燃ごみ処理施設規模を既存施設と同程度の220t/日に極力近づけるように縮減することが地元住民より求められた。その為、新可燃ごみ処理施設の規模を縮小すること及び、さらなるごみの減量と資源化の推進を図ることを目的として、日野市が収集している不燃ごみからプラスチック類を分別することとし、新可燃ごみ処理施設の施設稼働（平成32年度予定）に合わせてプラスチック類資源化施設を市単独にて整備することとした。

(3) 本施設の概要

日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設	建設予定地	東京都日野市石田一丁目210番地の2
	施設規模	■破砕設備 ・不燃ごみ : 6.9t/5h（年間計画処理量：1,398t/年） ・不燃性粗大ごみ : 2.2t/5h（年間計画処理量：427t/年） ■選別設備 ・プラスチック類 : 18.7t/5h（年間計画処理量：3,804t/年） （うち、プラスチック製容器包装 15.2t/5h、製品プラスチック 3.5t/5h）

(4) 事業方式

本工事は、性能発注方式とし、設計・建設を一括して請け負う DB 方式 (Design-Build) にて発注する方式とする。

(5) 事業期間

設計・建設・試運転期間：平成29年6月から平成32年3月までの2年10ヶ月間

(6) 業務内容

事業者が実施する主な業務は以下のとおりである。

ア 本施設の設計・建設に関する業務

- ① 本施設の設計
- ② 本施設の建設
- ③ 測量・地質・土壌等の市が提示する調査結果以外に必要となる調査
- ④ 循環型社会形成推進交付金（以下「交付金」という。）申請支援
- ⑤ 生活環境影響調査に関する支援
- ⑥ 市が行う許認可申請支援

- ⑦ 建設工事に係る許認可申請
- ⑧ 近隣対応（事業者が負担すべき範囲）

3 民間事業者の選定方法

民間事業者の募集及び選定は、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 10 の 2 の規定に基づき、総合評価方式（高度技術提案型）による制限付一般競争入札方式により実施した。

4 審査方法・手順

（1）参加資格審査

市は、入札参加者から提出される入札参加表明書及び参加資格審査申請書類により、入札説明書に示す参加資格要件をすべて満たしていることを確認する。参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

（2）提案書類審査

ア 提案内容の基礎審査

市は、入札参加者から提出される提案書により、入札参加者が以下に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について 1 項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。全ての基礎審査項目を満たしていることが確認された場合、当該提案書について加点審査を行う。

【基礎審査の項目】

審査対象	基礎審査項目
提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案書全体について、同一事項に対する 2 通り以上の提案がないこと。また、提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。 ・ 提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。 ・ 当該提案に関する各様式（別添「様式集」参照）に示す項目に対する提案の内容が発注仕様書等を満たしていること。
設計図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書の内容が発注仕様書等を満たしていること。

イ 提案内容の加点審査

加点審査においては、設計・建設及び入札価格の各審査項目について提案内容を得点化し、得点の合計値を総合評価値とする。

ウ 入札価格に関する事項以外の得点化方法

選定委員会は、提案書に記載された内容について、発注仕様書等に示す要件を超える部分に対して、その評価に応じた得点を付与する。

なお、審査項目ごとに以下に示す 5 段階評価に基づき、各委員の合議にて当該入札参加者の得点を最終決定する。得点は、小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

評価	判断基準	得点化方法
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において優れていると認められない	配点×0.00

エ 入札価格以外の審査項目、審査のポイント及び配点

加点審査における各審査項目の配点及び評価の視点については、市が本工事に期待する事項の必要性又は重要性を勘案して設定した。

【加点審査の配点表】

審査項目（小項目別）	配点
1. 設計・建設に関する事項	60点
(1) 施工計画	15点
ア 狭小地での施工について、優れた提案がなされているか。	
イ 既存施設の搬入動線の確保について、優れた提案がなされているか。	
ウ 工事期間中の新可燃ごみ処理施設建設工事との連携について、優れた提案がなされているか。	
エ 工事期間中の周辺環境対策について、優れた提案がなされているか。	
オ その他、優れた提案がなされているか。	
(2) 安全・安定稼働が可能な施設	15点
ア 搬入不適物の防止について、優れた提案がなされているか。	
イ 火災・爆発対策について、優れた提案がなされているか。	
ウ 貯留、保管並びに機器の余裕について、優れた提案がなされているか。	
エ 地震及び浸水対策について、優れた提案がなされているか。	
オ その他、優れた提案がなされているか。	
(3) 環境へ配慮した施設	10点
ア 施設機能としての環境保全に関わる基準について、優れた提案がなされているか。	
イ 用役使用量（電力以外）及び排水の削減について、優れた提案がなされているか。	
ウ 運転員及び作業員の作業環境について、優れた提案がなされているか。	
エ 見学者対応について、優れた提案がなされているか。	
オ その他、優れた提案がなされているか。	
(4) 経済性の優れた施設	10点
ア 電力使用量の削減を含めた省エネルギー対策について、優れた提案がなされているか。	
イ 運転費・補修・点検費の低減について、優れた提案がなされているか。	
ウ 本施設の資源化（純度、回収率等）向上について、優れた提案がなされているか。	
エ 破碎残渣の減量化対策について、優れた提案がなされているか。	
オ その他、優れた提案がなされているか。	

審査項目（小項目別）		配点
（５）地域貢献等に優れた施設		10 点
ア	本工事における地元企業（日野市に営業所等を置く企業を含む。）活用方針について、優れた提案がなされているか。	
イ	本施設運営における多様性のある柔軟な雇用の実現について、優れた提案がなされているか。	
ウ	その他、本施設周辺の住民との良好な信頼関係を構築するための地域への貢献について、優れた提案がなされているか。	
計		60 点
2. 入札価格に関する事項		40 点
合計（全ての加点審査項目）		100 点

オ 入札価格に関する事項の得点化方法

入札価格については、次の方法により得点を付与する。

- ①入札参加者の中で、最小の入札価格となった提案に対し、価格に関する配点の満点を付与する。
- ②他の入札参加者の提案については、最低入札価格との比率により算出する。得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

（算定式）

$$\text{入札価格得点} = \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \times 40 \text{ 点}$$

（３）開札

市は、入札書に記載された入札価格が、予定価格の範囲内であることを確認するとともに、当該金額から算出される入札価格に関する事項の得点を選定委員会に報告する。なお、入札価格が予定価格を超えている入札参加者は無効とする。

（４）最優秀提案の選定

選定委員会は、入札価格と提案内容の加点審査の合計である総合評価値が最も高い提案を最優秀提案として選定する。総合評価値の最も高い提案が２以上ある場合は、当該提案のうち、提案内容の加点審査の合計点数が最も高い提案を最優秀提案として選定する。

なお、総合評価値及び提案内容の加点審査の合計点数の両方について最も高い提案が２以上ある場合は、当該提案者にくじを引かせて最優秀提案を選定する。

（５）落札者の決定

市は、選定委員会における最優秀提案の選定結果を受けて、落札者を決定する。

5 事業者選定までの経過及び選定委員会の開催経過

日付	内容
平成28年7月13日（水）	第1回日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設整備等事業者選定委員会（事業概要、事業者選定方式）
平成28年8月26日（金）	第2回日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設整備等事業者選定委員会（公募資料、事業者選定方法）
平成28年10月7日（金）	第3回日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設整備等事業者選定委員会（公募資料）
平成28年11月4日（金）	入札公告（入札説明書等の公表）
平成28年11月16日（水） ～11月17日（木）	入札説明書等に対する質問の受付（第1回）
平成28年12月5日（月）	入札説明書等に対する質問回答の公表（第1回）
平成28年12月19日（月） ～12月21日（水）	入札参加表明書、参加資格審査申請書類受付
平成29年1月11日（水）	参加資格審査結果の通知
平成29年1月19日（木） ～1月20日（金）	入札説明書等に対する質問の受付（第2回）
平成29年2月8日（水）	入札説明書等に対する質問回答の公表（第2回）
平成29年2月	第4回日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設整備等事業者選定委員会（経過報告、手続きスケジュール） （資料送付にて確認）
平成29年3月2日（木）	入札書類の受付
平成29年4月13日（木）	第5回日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設整備等事業者選定委員会（提案書審査）
平成29年4月26日（水）	第6回日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設整備等事業者選定委員会（各グループへのヒアリング、加 点審査項目（非価格要素）の審査）
	入札書の開札 第6回日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設整備等事業者選定委員会（開札後に価格点の得点化、最優 秀提案者の選定）

6 審査結果

(1) 参加資格審査

平成 28 年 11 月 4 日に入札公告を行い、平成 28 年 12 月 21 日までに 3 グループより入札参加表明書及び参加資格審査申請書類を受け付けた。市は、入札参加資格審査を実施し、入札参加希望者が入札参加資格を満たしていることを確認し、平成 29 年 1 月 11 日に、入札参加希望者の代表企業へ入札参加資格審査結果を書面にて通知した。

なお、当該入札参加者には、提案書作成にあたって、次の提案者番号等を用いるよう通知した。したがって、選定委員会は具体的な企業名を知ることなく加点審査を行った。

提案者番号等は「トマトグループ」、「ブドウグループ」、「ブルーベリーグループ」とした。

(2) 基礎審査

平成 29 年 3 月 2 日に当該グループから提案書の提出があり、市が提案書の基礎審査を行ったところ、基礎審査項目すべてを満たしていることを確認した。

(3) 加点審査

ア 非価格要素点の得点化

平成 29 年 4 月 26 日に選定委員会は各グループの提案書について、落札者決定基準に基づき加点審査を行った。加点審査のうち、提案内容については審査項目毎に評価を行い、非価格要素点を確定した。審査結果は、次表に示すとおりである。

【加点審査（非価格要素点）の結果】

審査項目	配点	トマトグループ	ブドウグループ	ブルーベリーグループ
1. 設計・建設業務に関する事項				
(1) 施工計画	15 点	7.50 点	7.50 点	11.25 点
(2) 安全・安定稼動が可能な施設	15 点	11.25 点	7.50 点	11.25 点
(3) 環境へ配慮した施設	10 点	5.00 点	5.00 点	5.00 点
(4) 経済性の優れた施設	10 点	5.00 点	5.00 点	7.50 点
(5) 地域貢献等に優れた施設	10 点	5.00 点	5.00 点	7.50 点
計	60 点	33.75 点	30.00 点	42.50 点

イ 価格点の得点化

平成 29 年 4 月 26 日に、市は、各入札参加者の立会いのもと、入札書の開札を行った。その結果、各グループの入札価格は、入札説明書において事前公表している予定価格の範囲内であることを確認した。

開札後、市より選定委員会へ入札価格の報告が行われ、落札者決定基準に基づき、各グループの入札価格について得点化を行い、次のとおりとなった。

【価格点審査結果】

	トマトグループ	ブドウグループ	ブルーベリーグループ
入札価格（税抜）	3,730,000,000 円	3,040,000,000 円	3,614,000,000 円
価格点	32.60 点	40.00 点	33.65 点

(4) 最優秀提案の選定

選定委員会では、非価格要素点と価格点との合計値を総合評価値とし、ブルーベリーグループの提案を最優秀提案として選定した。

【総合評価値】

	トマトグループ	ブドウグループ	ブルーベリーグループ
非価格要素点	33.75 点	30.00 点	42.50 点
価格点	32.60 点	40.00 点	33.65 点
合計（総合評価値）	66.35 点	70.00 点	76.15 点

(5) 入札参加者の確認

最優秀提案の選定後、選定委員会はトマトグループ、ブドウグループ及びブルーベリーグループの入札参加者名を確認した。

【入札参加者名】

提案者番号等	トマトグループ	ブドウグループ	ブルーベリーグループ
グループ名	新明和工業グループ	極東開発グループ	メタウォーターグループ
代表企業	新明和工業株式会社	極東開発工業株式会社	メタウォーター株式会社
構成企業	新明和工業株式会社	極東開発工業株式会社	メタウォーター株式会社

(6) 審査結果

以上により、選定委員会は、メタウォーター株式会社を代表企業とするブルーベリーグループを、最優秀提案者として選定した。

7 審査講評

(1) 加点審査項目（非価格要素）の講評

①施工計画	トマトグループの提案は、狭小地に対する施設配置が評価された。 ブドウグループの提案は、狭小地に対する施工方法が評価された。 ブルーベリーグループの提案は、狭小地に対する施工方法、施設配置が評価された。
②安全・安定稼働が可能な施設	トマトグループの提案は、緊急時を考慮した施設設計が評価された。 ブドウグループの提案は、災害時に配慮した施設設計が評価された。 ブルーベリーグループの提案は、施工効率や処理品質の向上に配慮した施設設計が評価された。
③環境へ配慮した施設	トマトグループの提案は、自然エネルギーの活用に配慮した計画が評価された。 ブドウグループの提案は、資源使用量の削減へ配慮した計画が評価された。 ブルーベリーグループの提案は、資源使用量の削減へ配慮した計画が評価された。
④経済性の優れた施設	トマトグループの提案は、電気量の削減等優れた施設設計が評価された。 ブドウグループの提案は、電気量の削減等優れた施設設計が評価された。 ブルーベリーグループの提案は、電気量の削減等及び点検補修を考慮した優れた施設設計が評価された。
⑤地域貢献等に優れた施設	トマトグループの提案は、地元企業の活用計画が評価された。 ブドウグループの提案は、地元企業の活用計画が評価された。 ブルーベリーグループの提案は、地元企業の積極的な活用計画が評価された。

(2) 総 評

本工事は、日野市において発生する廃棄物の適正な処理及び、さらなるごみの減量と資源化の推進を図るため、プラスチック類資源化施設の設計・建設を行うものである。

また、新たな施設の設計・建設については、民間事業者のノウハウを最大限に活用することにより、廃棄物の適正処理、資源の循環、生活環境の維持保全、災害時の地域防災等を積極的に図るとともに、経済性にも優れた施設とするため、性能発注方式にて実施することとなった。

多くの企業からの関心をいただいた中で、最終的に3グループからの提案となった。本工事は、安全・安定稼働、狭小地における施工性等に関して非常にレベルの高い技術を求めるものであったが、どの提案も優秀で、要求水準について十分に満足する内容であった。提案の作成には相当の労力を要したと思われるが、このような優れた提案をまとめあげた各グループに対して、深く敬意と謝意を申し上げる。

選定委員会では、総合評価の評価項目の施工計画、安全・安定稼働、環境への配慮、経済性、地域貢献において優れた内容であったブルーベリーグループを最優秀提案者として選定した。

今後、長期間にわたり事業が実施されることとなるが、選定された事業者は提案された内容について確実に実行されるものと理解している。

事業者は、本工事が市民生活にとって極めて重要な位置付けを担うものであることを再度認識し、事業の円滑な推進に努めるとともに、以下の事項に十分に配慮した上で事業を実施するよう、選定委員会として要望する。

- ①電力料金使用料など、将来性の維持管理費用の低減提案を遵守すること。
- ②提案をベースに、高圧線を十分考慮した施工計画とするとともに、桜並木へ極力影響のない施工とすること。
- ③提案をベースに、配置動線計画は、収集車と一般搬入車が混乱の無いような動線及び既設管理事務所前の安全対策をとること。また、駐車場スペースについては、可能な限り確保すること。
- ④太陽光発電の活用等、環境へ配慮した施設とし、新可燃ごみ処理施設と一体となった景観を計画とすること。
- ⑤地元への発注額を可能な限り増やす努力をするとともに、地域社会への様々な貢献を行うこと。
- ⑥障がい者・高齢者等の働きやすい職場の建設整備をすること。
- ⑦施設の稼働状況が視認しやすい窓とするなど、施設見学者へ配慮した施設整備とすること。

最後に、本工事の敷地は狭小であり、かつ周辺において、新可燃ごみ処理施設整備工事など他の工事や既存施設のごみ処理も継続されているため、十分な安全対策と万全な工事計画により、施工されることが必要である。また、安全確保や住民理解のため、市と事業者の連絡体制の構築等が重要であり、双方が誠意をもって、本工事の推進に努められたい。

平成29年5月23日

日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設整備等事業者選定委員会
委員長 小 笠 俊 樹